

Verdi, G. Nabucco 第3部 より

Va, pensiero, sull'ali dorate
(Coro di Schiavi ebrei)

行け、わが思いよ、金色の翼に乗って
(ヘブライ人の捕虜たちの合唱)

『ナブッコ』は1842年にミラノ・スカラ座で初演されたジュゼッペ・ヴェルディ(1813-1901)の出世作。旧約聖書に題材を求め、紀元前6世紀のバビロニア王ネブドネザル(伊語でナブッコ)を主人公としている。「行け我が思いよ、金色の翼に乗って」は第3部でバビロニアの捕虜となったヘブライ人たちが故郷への思いを込めて歌う印象的な場面。初演当時オーストリアの圧政下にあった北イタリアの人々を奮い立たせたという。その後も長くイタリア民衆の愛唱歌となり、第二のイタリア国家と言われている。

Va, pensiero, sull'ali dorate;
Va, ti posa sui clivi, sui colli,
Ove olezzano tepide e molli,
L'aure dolci del suolo natal!

行け、わが思いよ、金色の翼に乗って、
行って、憩え、あの丘に、山に。
そこには、ぬくく、やわらかく、
故国の甘い風が薫っていくよ。

Del Giordano le rive saluta,
Di Sionne le torri atterrate...
Oh mia patria si bella e perduta!
Oh menbranza si cara e fatal!

送れ、挨拶を、ヨルダン川の川岸に、
そして、崩されたシオンの町のあの塔にも。
ああ、わが祖国、失われたあの美しい祖国、
ああ、思い出、懐かしくも不幸な思い出。

Arpa d'or dei fatidici vati,
Perche muta dal dal salice pendi?
Le memorie nel petto racendi,
Ci favella dal tempo che fu!
O simile di Solima ai fati
Traggi un suono di crudo lamento,

運命を告げる予言詩人の金の堅琴よ、
なぜお前は、黙して、柳の木にかかっている。
うちにおさめた記憶を取り出し
過ぎし日を、我らに語ってくれ。
あるいは、エルサレムの運命にも似せて
悲しい嘆きの声を響かせてくれ。

O t'ispiri il Signore un concerto
Che ne in fonda al patire vertu!

さもなくば、神から授かって、聞かせてくれ、
苦しみに耐える力となる楽の音を。

前回の練習風景
小松川さくらホール

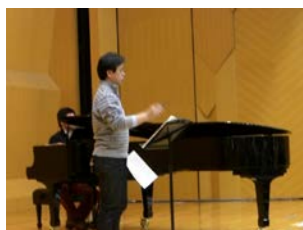
19期尾崎さん

10期 岸さん

タイムスの発送準備



22期渡辺さん



演奏会場 昭和女子大学人見記念講堂



オーケストラ・室内楽・バレエ・ジャズ・オペラ・ミュージカル・日本伝統芸能・講演 etc...
国内外と学園の文化・芸術を発信するコンサートホール

HITOMI
MEMORIAL HALL



レセプション会場の横顔



1F ふじ 364㎡ ネット仕様 (LAN回線)

